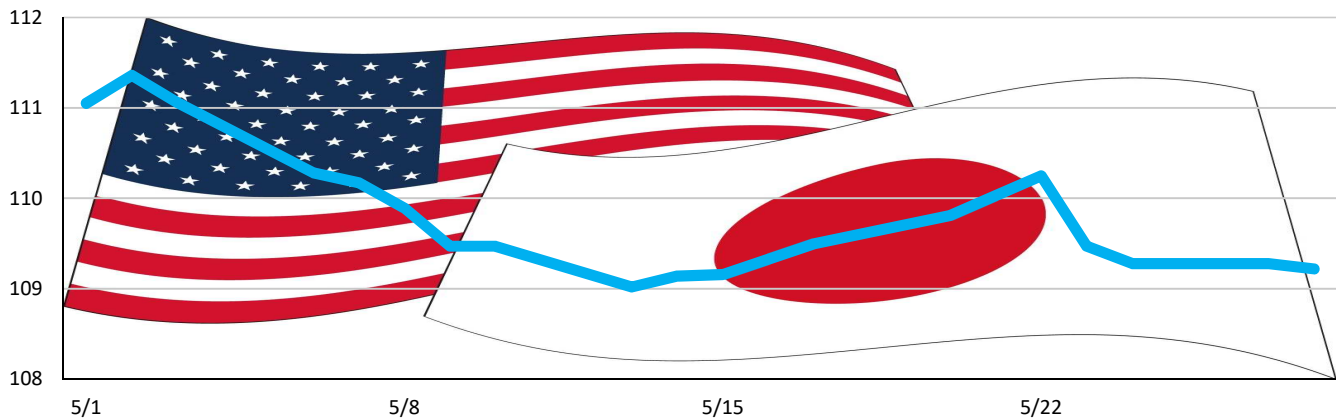


MARKET REVIEW

先月の振り返り：5月のドル円相場は111円半ば～108円後半で推移。4月後半の流れからドル高基調となっていたものの、トランプ大統領が中国製品に対する関税を引き上げることを発表したことから株式市場が急落。楽観論が台頭してきた中での関税引き上げはインパクトが強く、中国も報復措置を表明したことからドル売りが加速していった。その後はトランプ大統領の米中貿易協議の合意は近いとの発言や輸入車への関税賦課半年延期といった貿易摩擦軽減に向けての動きを好感し、ドルが買い戻されていったものの、ファーウェイをめぐる米中が互いに一步も引かない様相となり、再び対立が激化。月末には米国が突然メキシコへの関税を引き上げると報道などが嫌気され株安ドル売りとなった。

(円)

米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：先月末に突如浮上したメキシコに対する関税引き上げに関しては一旦決着となり、引き続きマーケットの関心事は米中貿易問題。G20財務相・中銀総裁会合を終えて、為替について議論とならなかったこともあり、米中貿易懸念は薄らいでいるものの、今後の協議内容によっては世界経済の下振れリスクともなるためマーケットの反応には注意を払っておきたい。またパウエルFRB議長など要人から利下げ容認発言が飛び出すなど、貿易問題を抜きにしてもドル高基調に歯止めがかかってきており、しばらくは狭いレンジでの動きを想定して対処したいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 25 (火)	23 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
6 / 27 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
6 / 28 (金)	17 : 30	GB	英GDP改定値	☆☆☆☆
7 / 5 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 11 (木)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
7 / 16 (火)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
7 / 17 (水)	18 : 00	EU	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。